

## ..... 編集後記 .....

◆ 今月号は、特集「一般公開」に関する原稿11編と一般投稿原稿4編です。一般投稿原稿は温泉・泥火山に関する2編、砂浜に関する1編、海山に関する1編です。口絵には箱根カルデラの温泉と中国の歴史的水利システム都江堰を掲載しました。

◆ 特集は、今年7月22日に産業技術総合研究所の一般公開の時に、地質分野から出展されたアナログ実験などです。はじめに吉田朋弘さんが全般的な紹介をしています。当日の来訪者は全体で5,800人に達したそうです。チャレンジコーナー「つくばで火山を噴火させよう」では以下の6件の報告がなされました。高田 亮さんは、地球をゼラチンに、マグマを油にそれぞれ見立てて「マグマの上昇と噴火」のアナログ実験を行いました。川辺禎久さんは小麦粉とエタノールを混ぜあわせて「溶岩流」のアナログ実験を行いました。及川輝樹さんは、炒り米、ポップコーン、スコーンを使って、「火山弾」のアナログ実験を行いました。竹内晋吾さんは、寿司酢と重曹を用いて「溶岩ドーム噴火とブルカノ式噴火」を再現させました。下司信夫さんは、アクリル水槽中で水中に泥水を注入することで「火山噴煙と火砕流」を再現させました。古川竜太さんと七山 太さんはパチンコ玉を水路に突入させることで「山体崩壊による津波発生」を再現させました。チャレンジコーナー「地震の揺れを測ってみよう」では吉田邦一さん他が、地震計を使って地面の揺れを測定し、それを大型ディスプレイに映し出しました。地質標本館からは以下の3件のイベントが報告されました。吉田朋弘さんは特別展「美しい砂の世界」について紹介しました。当日は1,868名が来館したそうです。目代邦康さん他は、水路や沈降管での土砂の動きを使って「地層・地形の形成」に関するアナログ実験を行いました。

### 地質ニュース編集委員会

委員長：玉生志郎

副委員長：吉田朋弘

委員：高木哲一・丸山 正・七山 太・

光畑裕司・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

吉田朋弘さんは砂を使ったオモチャ「巨大な石柱オベリスクを立てよう」を紹介しました。以上の実験はいずれも子ども達に大人気でした。小学生にとって格好な教材になると思われますので、マニュアル等を参照して一度試してみたいかでしょうか。ご質問などがありましたら、編集委員会事務局までご連絡ください。

◆ 町田 功さん他は、箱根カルデラ内の坑井水位データをもとに地下水の流れを明らかにしました。これは温泉の資源量を推定する上で大変重要なデータです。

◆ 高橋正明さん他は、北海道天塩郡の歌越別泥火山の状況とその成因について報告しています。世界各地の泥火山についても言及しています。

◆ 須藤定久さんは、砂と砂浜の地域誌(その11)として、茨城県波崎～鹿嶋の砂浜を紹介しています。開発に伴って、砂浜がどのように変化しているか解説しています。

◆ 竹内 章さんは、火山学者(故)中村一明さんに因んで命名された一明海山について紹介しています。この海山は太平洋プレートが伊豆小笠原海溝に沈む直前の位置にあります。

◆ 今月号は、一般公開でのアナログ実験などを中心に多様な記事を掲載しました。引き続き多様な紙面作りに心がけていくつもりですので、読者の方々からの感想と投稿をお待ちしております。

(玉生志郎)

2006年9月号に掲載された「地質情報のWEB流通と電子認証」の著者の一人である菊田昌弘氏は、9月14日に急逝し、本総説が遺稿となりました。謹んで哀悼の意を表します。

(古宇田亮一)

地質ニュース	第627号	2006年	11月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748)	〒実費	
2006年11月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8	〒102-0073	
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

© 2006 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ